



病児保育は子育てファミリーの
新しいライフラインです

No 25

2008年 2月22日



報道関係者各位

東京都中央区新川2-5-1 PSA305
特定非営利活動法人 フローレンス
担当: 末吉 03 - 3206 - 2604
info@florence.or.jp

日本初！全ての中小企業ワークライフバランス 支援者に贈る実践的フォーラム、品川にて開催！！ ワークライフバランスフォーラム2008年3月5日（水）開催

2005年から労働人口は減少をはじめ、企業が人材を「選ぶ時代」から「選ばれる時代」へと移り変わっています。そしてこの“人材から選ばれる時代”を生き抜くための経営戦略がワークライフバランス（仕事と生活を両立できる環境）への取り組みなのです。

しかし、厚生労働省が子育て支援計画義務付け対象企業を、社員101人以上の企業に拡大することを定めたにも拘らず、日本の99.7%を占め・日本人の7割が勤務する中小企業はワークライフバランスへの取り組みをほとんど始めていません。これから多くの中小企業が、従業員のワークライフバランス計画を策定することは必至です。

そこで今回のフォーラムでは、いかにして中小企業のワークライフバランス推進を行政やコンサルタントがサポートしていくのかというテーマを掲げ、

半年間の品川区版チャレンジ基金の取り組みの実例と成果

政策 / 実施両面からの、実務経験豊かなパネラーによるパネルディスカッションを行います。

【開催要項】

タイトル：3月5日ワークライフバランスフォーラム

『中小企業にワークライフバランスの火を灯そう！』

～私達が世界一多様で生産性の高いハッピーワーカーになる日～

日時：2008年3月5日(水) 18:00～20:30 (開場：17:30)

場所：品川区立総合区民館「きゅりあん」小ホール

パネリスト：(有)アパシオナータ代表 パク・ジョアン・スックチャ氏

前横浜市副市長 前田正子氏

(株)松竹 人事部長 関根康氏

主催：品川区・東京商工会議所品川支部

運営：NPO法人フローレンス



ワーク・ライフ・バランスとは？

1990年代初頭アメリカで始まった試みで、

「仕事と私生活のベストバランスが両者に相乗効果を生むこと」と言われています。

労働力人口が2005年より減少に転じる中で、国内中小・ベンチャー企業も

ワーク・ライフ・バランスに取り組まねば、生産性向上を図れない時代にあるのです。

特定非営利活動法人フローレンス

<http://www.florence.or.jp>